



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成23年2月13日（第36号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6637 FAX（88）3231

第8回自然環境体験ハイキングを開催しました

エコパートナーシップうじたわら自然・生活環境部会では、平成23年1月30日（日）に『自然環境体験ハイキング』を開催しました。今回で8回目を迎えたハイキングは総勢21名の参加をいただき、「家康伊賀越えの道」とされている湯屋谷～奥山田地区の山道を散策しました。

午前10時に湯屋谷会館に集合した参加者は、厳寒の中、奥山田茶屋村にある遍照院を目指し出発しました。途中、緑茶の祖とされる永谷宗円生家に立ち寄り、阪本会長から宗円に関するお話や湯屋谷地域に伝わる伝承を、その後伊賀越えの道に歩を進め、江戸後期～明治初期、松峠にあったとされる旅籠のお話などを聞かせていただきました。奥山田地区に入った一行は、古き良き日本の原風景を思い出す里山の景色を眺めながら、家康が伊賀越えの際、立ち寄ったとされる遍照院に到着しました。遍照院で昼食をとり境内を散策した後、地元で運行されているコミュニティバスに乗り、スタート地点である湯屋谷会館に無事帰着しました。



今回のハイキングでは、町内に住んでいても普段なかなかいくことのできない山道や史跡を散策し、その地の風土や歴史に触れることで、宇治田原の良さを再認識するいい機会になったのではないのでしょうか。

自然と生活景観の写真展

エコパートナーシップうじたわらでは、『自然と生活景観の写真展』を下記の日程にて開催いたします。宇治田原町の四季折々の風景写真を通し、いつまでも残していきたい自然景観の素晴らしさを次世代につなげていきたいと考えております。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



【柿屋】

展示期間 平成23年3月2日（水）～3月7日（月）

展示場所 宇治田原町総合文化センター2階 ロビー

次の方・団体から22年度賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、宇治田原町商工会、宇治田原工業団地管理組合、株式会社宇治田原製茶場、協栄開発株式会社、JA京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、株式会社堀口新聞販売所、有限会社富山資源開発、米田造園土木株式会社、株式会社山岡製作所 ※平成23年1月現在（敬称略・順不同）

エコキャップを預けてきました

エコパートナーシップうじたわらでは、昨年より各地区の公民館、自治会館などでペットボトルの蓋専用のボックスを置かせていただき、全国的な運動となっているエコキャップ回収運動に取り組んできました。1月31日（月）に1回目の運搬を行い伏見区にある株式会社 山本清掃様で引き取りをお願いしました。引き取られたキャップは、NPO法人『エコキャップ推進協議会』に運ばれたあと計量をおこない、リサイクルメーカーに売却されます。そこで得た利益をNPO法人『世界の子供にワクチンを日本委員会』に寄贈後、発展途上国にワクチンとして贈られます。計量結果等につきましては、次号で報告いたします。



【積み下ろし作業を行う阪本会長】

2009年度（平成21年度）温室効果ガス排出量について

環境省は12月27日、09年度の温室効果ガス国内排出量の速報値を発表しました。金融危機（08年秋）後の景気後退で企業の生産活動が落ち込んだ影響で、前年度比5.7%減の12億900万トン（二酸化炭素換算）と、京都議定書で約束した「マイナス6%」を達成できる水準に収まりました。しかし、民間のシンクタンクは、10年度は景気回復や猛暑などの影響により排出量が増えると予測しています。09年度は京都議定書の目標期間（08～12年度）の2年目にあたります。日本は同期間の温室効果ガス（二酸化炭素を含む6種類）排出量を、90年度より毎年平均で6%減らす義務があります。ただし、森林による二酸化炭素吸収分や海外から購入した排出権（枠）を削減とみなせるため、実際の排出量は0.6%減（12億5400万トン）でも目標が達成できます。発表された09年度の速報値ではこれをクリアしました。



排出量のうち、産業や家庭での燃料・電力使用による「エネルギー起源」は前年度比5.6%減の10億7500万トンで、とりわけ工場などの産業部門が7.9%減と急減し、90年度比では19.9%となりました。オフィスなどの業務部門でも前年度比の6.6%減となりました。民間のシンクタンク「日本エネルギー経済研究会」の予測では、生産活動の回復や夏の記録的猛暑による冷房需要増加により、10年度はエネルギー起源の二酸化炭素排出量が増加に転じ、09年度3.7%上回る11億1400万トンになるとみられています。しかし、同研究所は「民間企業を差し引けば、議定書の目標値はひき続き達成できるのではないかとみえています。

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設・環境課内）
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6637 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原